楽ラップ ネット運用報告会

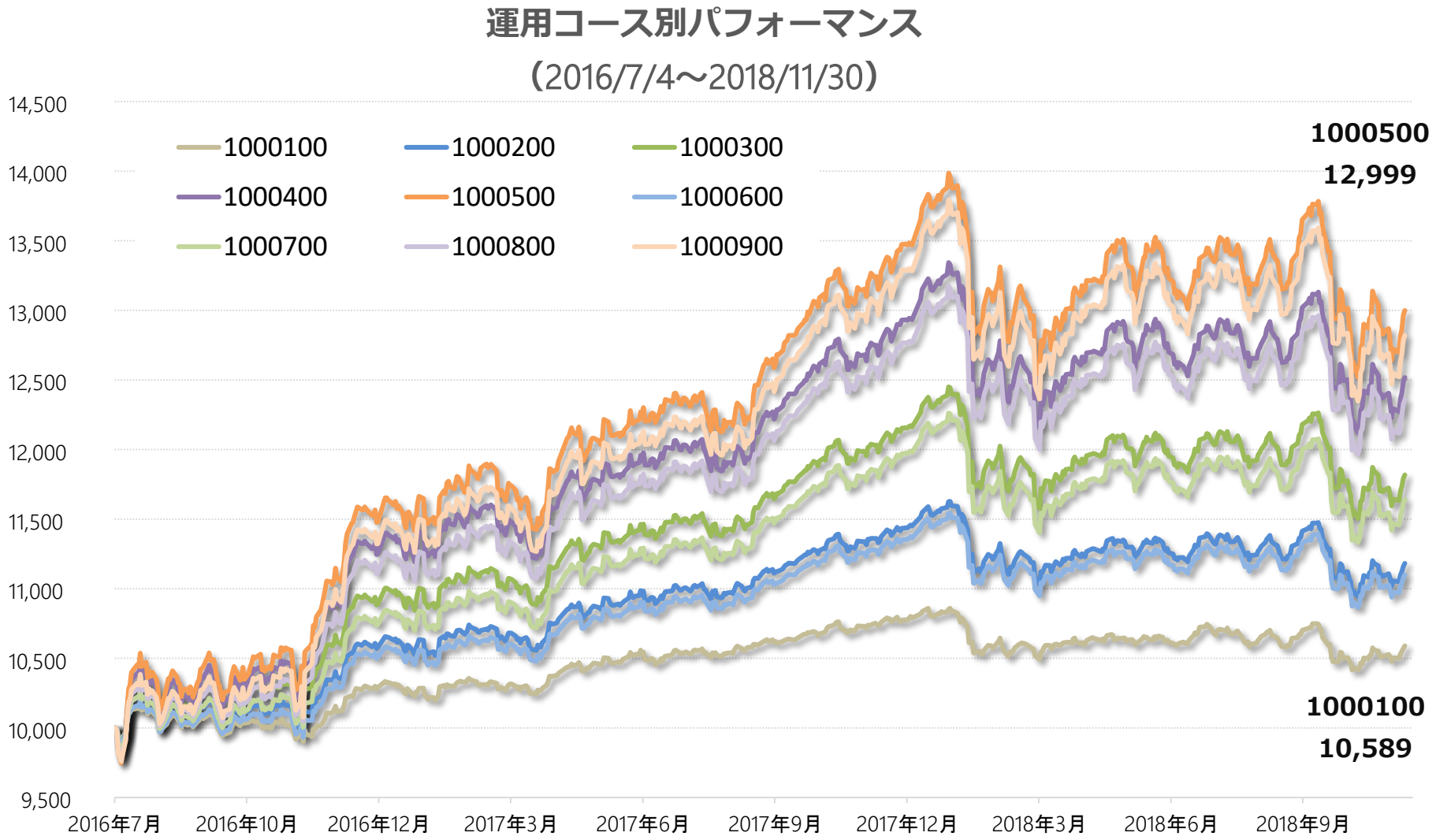
2018年12月12日収録

Rakuten 楽天証券

楽ラップの運用状況

１．サービス開始来の運用実績

パフォーマンスは、足元は揉み合うも、運用開始来は良好



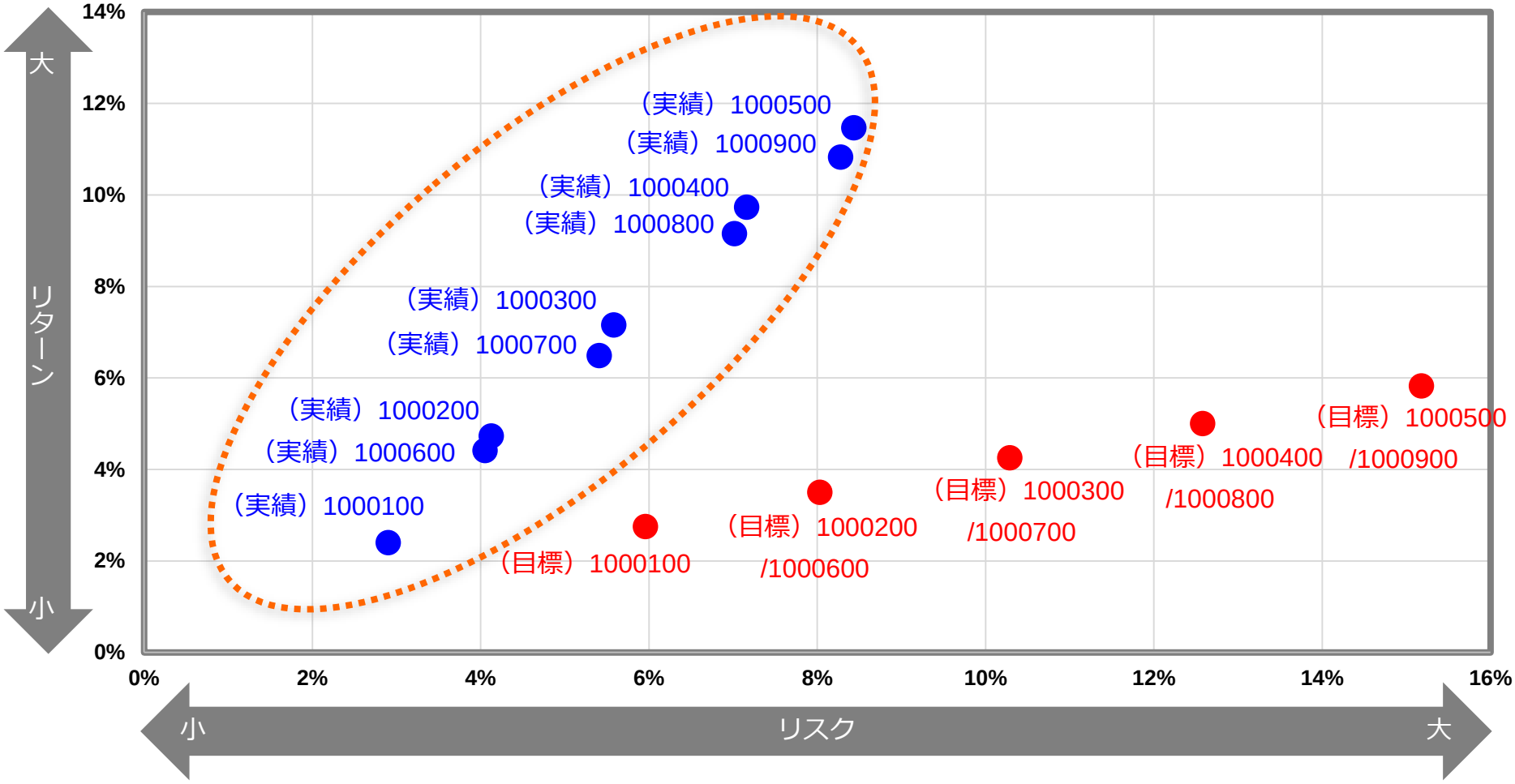
楽ラップのサービス開始時を10,000として指数化。楽ラップに係る費用は控除前。楽ラップが投資するファンドに係る運用管理費用（信託報酬）は控除後。

パフォーマンスはお客様毎に投資時期、投資金額、手数料コース等により異なります。ご自身のパフォーマンスに関しては、楽天証券のHP等でご確認ください。

概ねリターンは目標を上回り、リスクは目標を下回る

各運用コースのポートフォリオのリスク・リターン（年率）の目標と実績の比較

（2016年7月4日～2018年11月30日）



楽ラップに係る費用は控除前。楽ラップが投資するファンドに係る運用管理費用（信託報酬）は控除後。実績リスク・リターンは、月次リターンを使用して計算し、年率換算ベースで表記。目標リスク・リターンは、2018年7月上旬に見直しを実施。パフォーマンスはお客様毎に投資時期、投資金額、手数料コース等により異なります。ご自身のパフォーマンスに関しては、楽天証券のHP等でご確認ください。

２．今四半期の運用状況

全コースがマイナスリターン、ハイリスクコースほど下落

各運用コースの四半期パフォーマンス
（2018年9月～2018年11月）

運用コース	2018年9月	2018年10月	2018年11月	2018年9月～11月
1000100	0.78%	-2.63%	1.18%	-0.72%
1000200	1.18%	-3.83%	1.35%	-1.38%
1000300	1.62%	-5.13%	1.64%	-2.01%
1000400	2.08%	-6.35%	1.89%	-2.59%
1000500	2.49%	-7.51%	2.12%	-3.19%
1000600（TVT機能付き）	1.18%	-3.83%	1.35%	-1.38%
1000700（TVT機能付き）	1.62%	-5.13%	1.64%	-2.01%
1000800（TVT機能付き）	2.08%	-6.35%	1.89%	-2.59%
1000900（TVT機能付き）	2.49%	-7.51%	2.12%	-3.19%

（ご参考）

SSgA 日本株式インデックス	5.56%	-9.42%	1.31%	-3.14%
SSgA 先進国株式インデックス	2.53%	-8.78%	2.30%	-4.32%
SSgA 日本債券インデックス	-0.26%	0.15%	0.41%	0.31%
SSgA 先進国債券インデックス	1.66%	-1.83%	0.88%	0.68%
SSgA 先進国債券インデックス（H有）	-0.61%	-0.33%	0.26%	-0.68%

楽ラップに係る費用は控除前。楽ラップが投資するファンドに係る運用管理費用（信託報酬）は控除後。

TVT機能とは、市場急落時に株式の比率を削減する下落ショック緩和の機能。

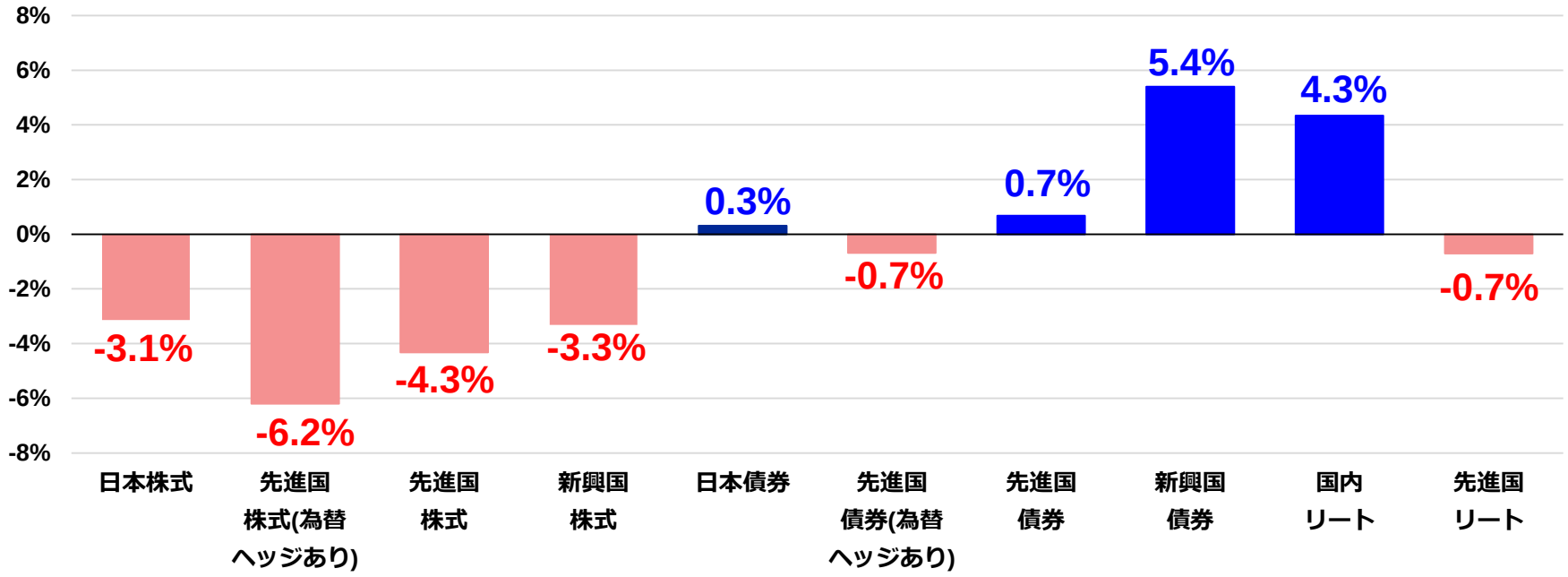
パフォーマンスはお客様毎に投資時期、投資金額、手数料コース等により異なります。ご自身のパフォーマンスに関しては、楽天証券のHP等でご確認ください。

国内外の株式が急落する一方、新興国債券・国内リートが堅調

【各資産の動向（2018/8/31～11/30）】

- **国内外の株式が軟調。**
- **国内債券が小幅高だが、先進国債券は為替ヘッジ付が下落。**
- **新興国債券・国内リートは利回りが評価され、堅調。**

各資産のインデックスファンドの下落率（2018/8/31～11/30）



上記、各資産インデックスファンドのリターンは、運用管理費用（信託報酬）控除後。

パフォーマンスはお客様毎に投資時期、投資金額、手数料コース等により異なります。ご自身のパフォーマンスに関しては、楽天証券のHP等でご確認ください。

３．今後の投資方針

運用方針は変更せず、長期分散投資を徹底継続します

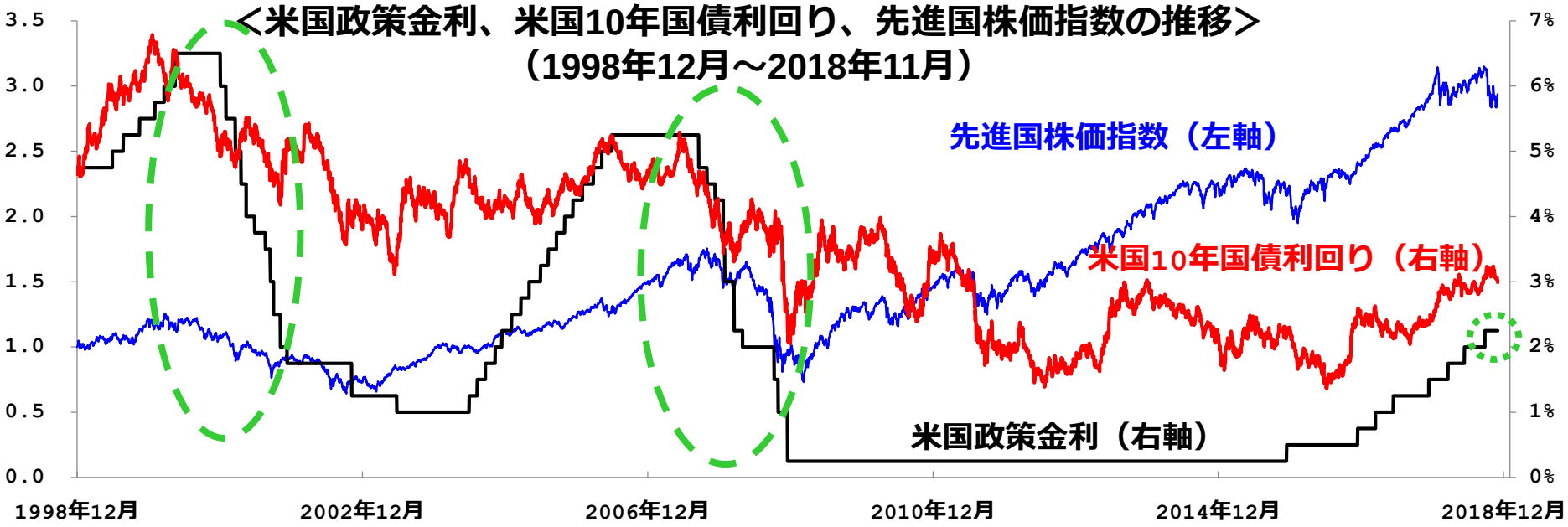
運用の基本方針

- 各運用コースの想定リスクに基づき、各資産を最適な比率で組み合わせ、長期投資を行います。
- 原則、投資タイミングを図った投資は行いません。
- 長期的な金融市場の拡大をじっくり捉えながら、資産の成長を目指します。
  ※短期的なトレーディングは行いません。

短期的な市場の動きに対しては、上昇しても下落しても、一喜一憂しません。
楽ラップは、例えるなら**「5,000kmを走るウルトラマラソン」**です。
粘り強く最後まで走り抜き（投資し続け）、最後に勝つことを目指します。

注目ポイント　～ 米国の利上げ打ち止めの時期

- 過去、**米国の利上げ打ち止め後、米長期国債利回りが大幅低下すると、世界的に株価が急落するパターンが繰り返されてきました。**
- 米国景気の先行きへの警戒感が出てきており、米国の利上げが予想以上に早く打ち止めになる可能性。株式は割高感がある一方、米長期債利回りは３％を越え、魅力的な水準。一旦、債券へシフトするリスクオフが始まれば、大きな調整も。
- **ただし、楽ラップは長期運用ですので、原則、短期的な市場動向に応じて、運用方針を変えることはしません。**

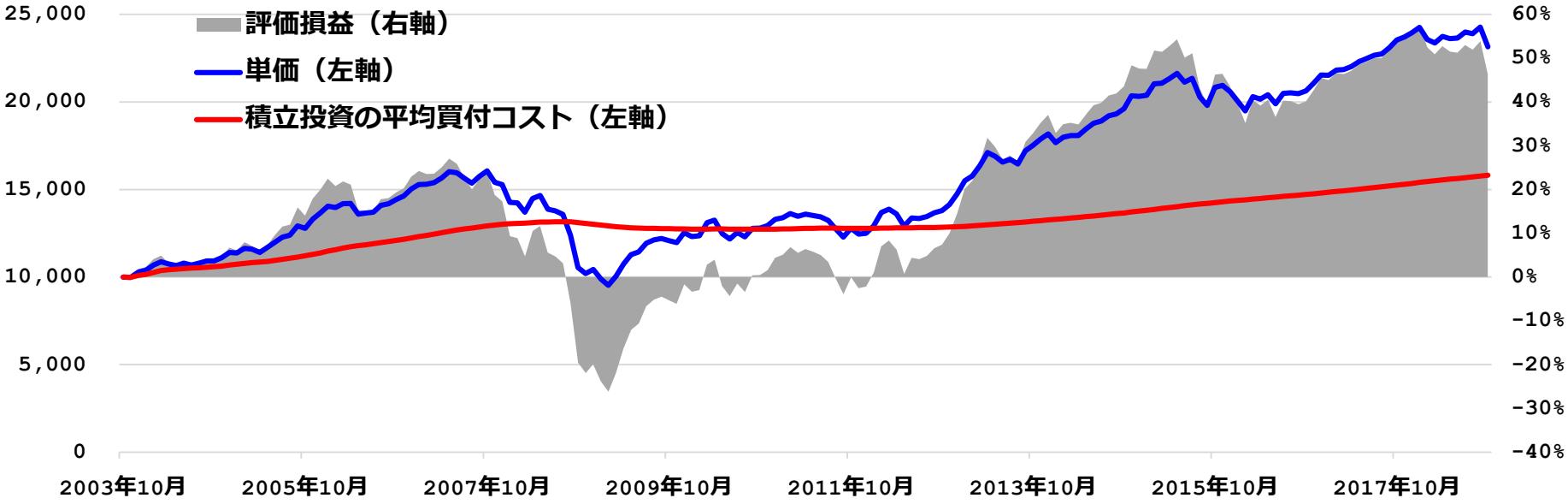


※先進国株価指数（右軸）は、MSCIコクサイ指数（米ドル）を1998年12月末を１として指数化。
※出所：Bloomberg より楽天証券作成（2018/11/30）

おススメ投資方法　～　積立投資（定時定額投資）

- **「単価 ＞ 平均買付コスト」ならば、プラスリターン。**
- 従って、**単価が上がるか、平均買付コストが下がれば、利益を上げられる。**
- 積立投資なら、市場が下落したとき、平均買付コストを引き下げられる。
- 下げ相場で平均買付コストを引き下げ、最終的に**「単価 ＞ 平均買付コスト」になるのをじっくり待ちながら、長期の積立投資を行うのがベスト！**

<1000300に積立投資した場合の単価、平均買付コスト、評価損益>

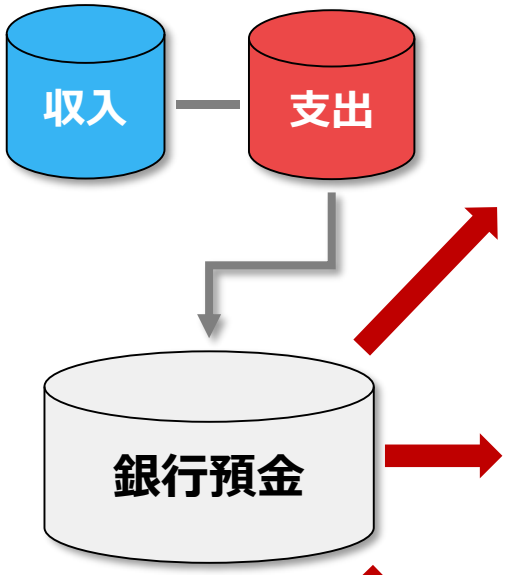


出所：Bloombergのデータを基に楽天証券作成。2013年10月末～2018年10月末まで毎月定額の積立投資をしたケースのシミュレーション。
資産配分は、2018年10月末現在の配分で運用を継続した前提。フィーは年間１％として、費用控除後のリターンで計算。

４．（ご参考）私の投資状況

（ご参考）私の積立投資の状況（2017年6月スタート、2018/11/30現在）

積立投資による、お金のコア・サテライト運用



サテライト資産 長期資産形成（リスクテイクできるお金）

先進国株式ファンド（為替ヘッジなし）	時価評価額	投資損益
毎月3万円　積立投資	490,757円	10,757円

コア資産① リスクを抑えた運用
（すぐ使わないが、いつでも使える必要があるお金）

楽ラップ　1000600	時価評価額	投資損益
初回10万円、毎月3万円　積立投資	576,946円	▲3,054円

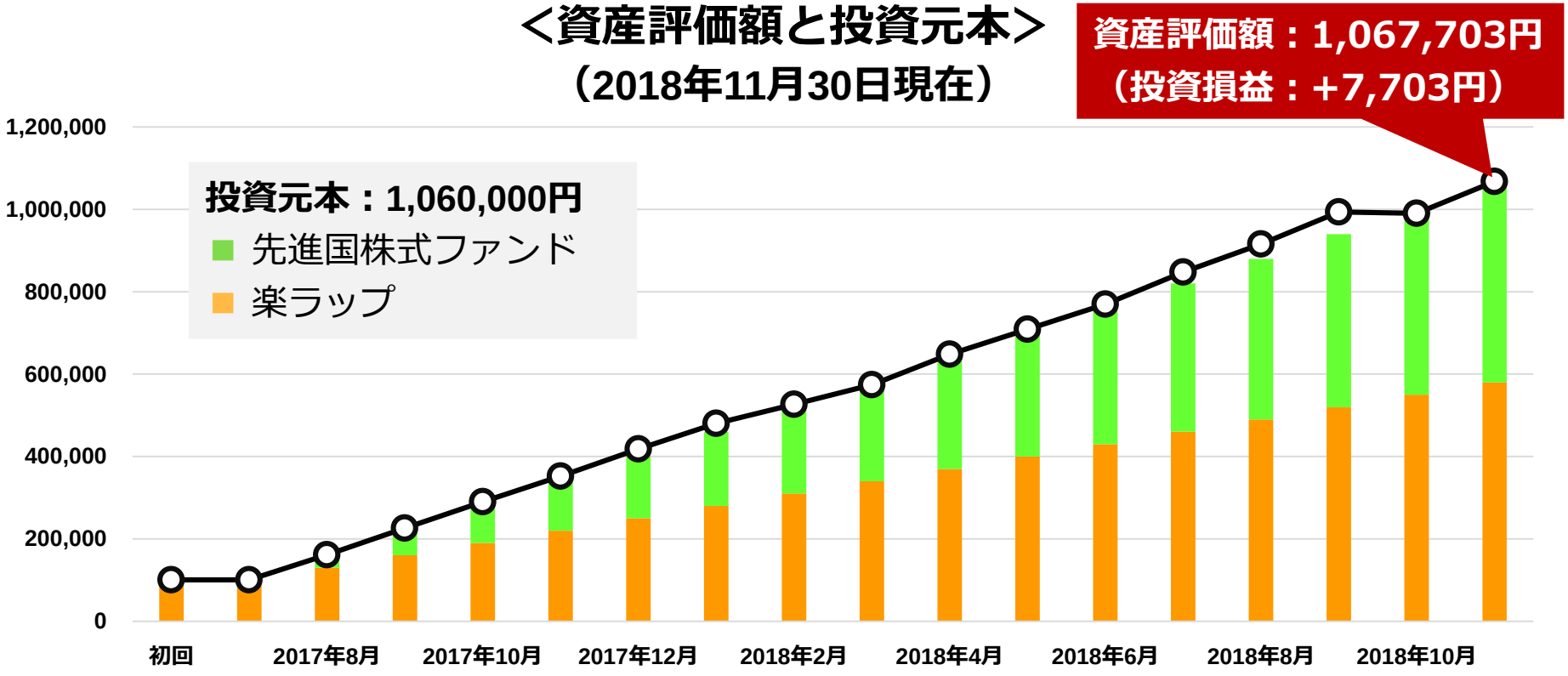
コア資産② 銀行預金（すぐ使うお金）

銀行預金	時価評価額	投資損益
普通預金	–	0円

（ご参考）積立による長期投資が資産形成には最適

- 銀行預金から、楽ラップと先進国株式ファンド（為替ヘッジなし）へ資金をシフト。
- 毎月一定額の投資を長期的に継続し、損失発生リスクを抑制しつつ、金利がほぼゼロの銀行預金を上回るリターンを追及。
- **１８ヶ月で106万円を**投資し、現在のリターンは＋0.73%。現状、市場は揉み合っているが、投資を継続し平均買付コストを低下させ、長期的にプラスリターンを追求中。

＜資産評価額と投資元本＞
（2018年11月30日現在）



ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようにお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なることがございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいますようお願いいたします。

商　号　等 ： 楽天証券株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者
加 入 協 会 ： 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

投資にかかる手数料等およびリスク

【楽ラップにかかるリスクと費用】

楽天証券ラップサービスは、国内投資信託および外国投資信託等を主な投資対象として運用を行うため、投資元本は保証されるものではなく、これを割り込むことがあります。また、お客様には運用にかかる費用等をご負担いただきます。費用等には、直接ご負担いただく費用（投資顧問料及び管理手数料）と、間接的にご負担いただく費用（投資対象に係る費用）があります。

楽天証券ラップサービスの手数料体系には固定報酬型と成功報酬併用型があり、固定報酬型では投資顧問料と運用管理手数料の合計が最大で運用資産の0.702%（税込・年率）、成功報酬併用型では投資顧問料と運用管理手数料の合計が最大で運用資産の0.594%（税込・年率）＋運用益の積み上げ額の5.40%（税込）となります。このほかに間接的にご負担いただく費用は、投資信託では運用管理費用として、信託報酬 （最大で信託財産の0.378%（概算）（税込・年率）。但し、楽天証券ラップサービスで投資する投資信託が投資対象とする他の投資信託の信託報酬等を加えた実質的な運用管理費用は最大で信託財産の0.6796%（概算）（税込・年率）です。）、信託財産留保額（最大で信託財産の0.30%（概算））、その他費用をご負担いただきます。これらの費用の合計額および上限額については、資産配分比率、運用状況、運用実績等に応じて異なるため、具体的な金額・計算方法を記載することができません。詳しくは、契約締結前交付書面および目論見書等でご確認ください。

なお、楽天証券ラップサービスにはクーリング・オフ制度は適用されません。金融商品仲介業者を通じてお申込みいただいたお客様は、ご担当者までお問合せください。